

令和7年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」実績報告関係様式

都道府県名	21 岐阜県
市区町村名	21506白川町

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施 自治体名	課題の類型 1	課題の類型 2	背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために 令和7年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和6年度にお ける取組の評価・分析を踏まえた取組	本事業で達成する目標 (アウトカム)	目標の達成度を 測る指標	現 状 の 数	単 位	本 年 度 の 目 標 値	実 績 値	アウトカムの達成度に関する評価・分析 (事業における成果、課題、改善点等)	目標等の公表先
21506白川町	②学校と地域の課題	その他	放課後から下校までの時間に学校で過ごす児童・生徒の管理を教職員が行う場合、その間に事務処理などが行えない。	放課後から下校までの時間に学校で過ごす児童・生徒を地域住民(活動サポーター)が見守り、学習指導を行う。	地域住民が役割を担い、協働が進み、教員の業務負担が軽減する。	業務負担が軽減したと感じる教員の割合	業務負担が軽減したと感じる教員の割合	80	%	80	80	03 本年度の目標値を達成し、課題の目標値を下回り、取組の工夫・改善の効果が認められる。全小学校区で放課後子ども教室が開設されている。地域住民ができる学校活動のサポート等を行うことで、教職員の事務時間の確保や負担軽減につながった。学校のニーズを地域に発信する方法に検討が必要。	https://www.town.shirakawa.lg.jp
21506白川町	②学校と地域の課題	その他	ふるさと教育をはじめとする地域学習を行う上で、教職員だけでは地域資源や地域の良さ、課題を伝えられない。	学校のふるさと教育について意見を聴き、地域とのマッチングを行い、地域指導者の派遣や地域資源や課題についての情報提供を行う。	地域指導者の協力による充実した地域学習を実施し、子どもが郷土愛を持ち、課題について考えられるようになる。	ふるさとへの良さ、課題を認識した児童数(アンケート調査)	ふるさとへの良さ、課題を認識した児童数(アンケート調査)	68	%	70	65	白川町では以前からふるさと教育に対する学校のニーズを、地域の指導者等で補完する仕組みがあるため、仕組みの引き継ぎや指導者の更なる発掘など共通理解を深めることで、子どもに伝わる地域学習を進めたい。	https://www.town.shirakawa.lg.jp

※行が足りない場合は、非表示になっている行を再表示してください。